

平成16年

新年号

No.223

波紋



2004 1月
PUBUSHER: 森松株式会社 EDITOR: 梅田文康

第20回 改善発表会 開催日: 11/22(土) 田中 美樹(Σ-208)

優勝

Σ-208 プロローグ

私達のサークルの改善テーマは、プロローグ(工場内の整理整頓)です。

手始めとして今回は、本社2階のウェルダーク工場の整理整頓から行いました。どのように整理整頓していくかを何度も何度も話し合い、休日を利用して実際に機械や棚など移動し、より良い工場レイアウトを作る事ができました。



今回は、私にとって初めての改善発表会、しかも第20回という記念すべき発表会で優勝する事ができ、とても嬉しく思いました。今まで継続的にやってきた事、また皆で力を合わせてやってきた事が評価された結果だと思えます。何事にも継続してやる事が大事だと改めて感じました。

休日にもかかわらず、社長をはじめ齋藤さんにはご協力いただき有難う御座いました。発表者の松井さん、本当にお疲れ様でした。次回も頑張っって優勝したいと思えます。



「新年度を迎え」

社長 森直樹



あけましておめでとうございます。昨年度の未年から今年は申年、猿が干支ですが申年の運勢は「器用で行動力もあり、旺盛な生活力を持つ」とのこと。昨年は平和な未(羊)とは裏腹に荒れた世の中でしたが今年も果敢として、国際的には、経済支援に留まらない、一歩踏み込んだ行動が期待される年となるでしょう。

昨年は大半を海外で過ごし、7月末よりの名古屋復帰でした。その間六ヶ月という期間、目まぐるしく過ぎていきました。まず自分の立場を認識し、会社の現状を理解し、自分の能力を把握し、今後どこに自分の力を注ぐべきか、「外から」の視点で、どうよりより森松を造っていくかを考えてきています。2004年、申年の行動力の恩恵にあずかることの出来るよう、ここに今後取り組んでいくことを簡単に挙げます。

- 業務の効率アップ=限りある人数でどう最大の効果を出すか。(私の現在の業務もそうですが)むやみに、分担できることこそでないところの線引きをしないか。皆で出来るところは協力して取り組んでいきたいものです。
- 国内外の協力工場活用=塩工場の代替生地で、塩工場の代替としてではなく使用分野で使い分けられてきたように、日本と海外、森松と協力工場との仕事によって一番適した発注先を選択出来るようアンテナを広げ、そして「迅速濃密な情報」のやり取りを進めていきます。
- 「森松にしか出来ない」と言われるサービス、商品を。「こんな間違いは森松にしか出来ない」とは言われたくないです。が...

先ずその言を行い、後にこれに従うともいいます。上記の三つが目に見える形となって現れるよう努力していきますので、2004年も皆様のご指導、ご鞭撻宜しくお願い致します。

naoki@morimatsu.net

2004年
1月

の予定



31日(土)	28日(水)	26日(月)	24日(土)	23日(金)	22日(木)	19日(月)	17日(土)	16日(金)	15日(木)	12日(月)	10日(土)	7日(水)	6日(火)	5日(月)	4日(日)	3日(土)	1日(木)	
第五土曜休み	法人会理事会	編集会議 17時30分~	第四土曜休み	慰安旅行(25日まで) 生産会議 17時30分~	営業会議 15時10分~16時30分	経営会議 7時30分~8時20分	倪さん誕生日	第三土曜休み	ビール組合賀詞交歓会 17時~21時	シティアイ化産賀詞交歓会 11時30分~13時	成人の日	齋藤さん・津田巨さん誕生日	アキレス株賀詞交歓会	文具組合賀詞交歓会 18時~20時	信念会 17時30分~20時	内田洋行株賀詞交歓会	吉岡さん誕生日	元旦



第22回 家族忘年会

第22回 家族忘年会が12/13(土) 栄マルベリーホテルにて行われました。

今回は、これまでの趣向を一部変更し、新鮮味ある忘年会へと考え幹事内でいろいろ案を出し合いました。

毎年行う、新入社員紹介の自己紹介では、今年の入社の飯田さんが英語、昨年入社した齋藤さんが中国語の達人である為、社長に通訳をしていただき、それぞれ英語、中国語で自己紹介をしていただきました。これまでは無かった、国際色溢れた空気に包まれました。社長、通訳ありがとうございました。

今年のゲームは、社員及びパートさんの若かりし頃の写真をスクリーン上に写し、懐かしむと共に人物当てをするゲームをしました。面影の残る方、正解を聞いても分からない方等、様々で、皆で楽しむことができました。写真の提示、御協力ありがとうございました。



また、準備期間及び段取り等において幹事内だけでは当日どうなる事かと不安でしたが、出席された皆様の御協力があったが無事に忘年会を終了することができました。

忘年会に参加、お手伝いをして頂いた方々に、感謝を申し上げます。

幹事: 西垣、長崎、伊藤、坪井、松井



編集後記

気がつけば年の瀬、この時期ならではの楽しみと言えませんが、私にとってはカレンダーと手帳選び。私が来年に選んだ手帳は、知る人ぞ知る「ほぼ日」手帳です。ネット上で企画開発の様子から生産状況まで逐一公開され、利用者の声を反映して毎年使い勝手がよくなっているという、まさに進化進行中の1冊なのです。

「書き込める」だけでなく「読み込める」手帳という表現があっているでしょうか、二年後に読み返すのが今から楽しみにするような、そんな手帳です。振り返ることが楽しくなる一年になりますよ。今から書き込み開始だあ!



齋藤 浩一 (クイックファイブ)



2004年慰安旅行

待ちに待った慰安旅行、今年は韓国と北海道の2グループで1月23日～25日に開催!

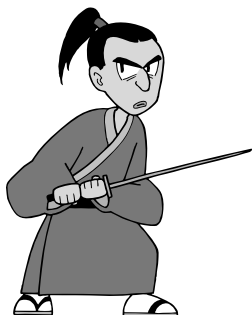
韓国コース

着後はさっそく天地淵瀑布や三姓穴を観光し、すぐさま韓国料理に舌鼓! 自由行動も乗馬・ゴルフなどで満喫だ!



北海道コース

でっかいどうな北海道に着いたらいきなり支笏湖で温泉&氷涛祭り! 白銀の大地を滑降した後は札幌ラーメンで冬の乾杯!



「明けましておめでとう」

森 信之



新年を迎えたい事事は、にもにもI・T(インターネット・テクノロジー)です。

今や、クリスマスプレゼントやお歳暮にインターネットを利用することは一般的になりつつあります。イラク駐留の米軍では、兵士にネットで買い物ができるように、パソコンを用意し、本国で待つ留守家族との絆を保つ事に腐心している。日本の自衛隊も同じ設備を準備してイラクへ出かけるのでしよう。留守家族同士もインターネットで写真や情報を交換しますから、政府や新聞発表に頼らず、自分の夫や息子の正確な様子を直接知る事が出来ます。I・Tの発達はお茶の間に届くよりも大きく変化させました。新聞やマスコミそして、政府の発言だけを信用していると、スッカリ騙されてしまいます。

21世紀はI・Tの発達で、すべての分野で劇的に変化します。森松社内では、同業他社より早めに取り組み、体制を整えていたので、時代に乗り遅れることなく対応している現状です。

昨年までの森松社内はデジタル化への切り替え時になり、社員の皆さんの帰宅時間が大幅に遅くなった事を、家族の皆さんにお詫び申し上げます。2004年はI・Tを便利な道具として活用し、経営に、また人生に役立てて参ります。皆さん本年もどうぞよろしくお願ひします。

(パソコン委員会、岩間委員長以下、委員の皆さんの活躍に期待しています)

「WWE」

村田恒夫 (GMエキスパート)



WWE(ワールドレスリング・エンターテインメント)に、息子共々ハマっております。

WWEはアメリカのレスリング団体の名称で、格闘技とは違い、レスリングではありませんがストーリー性があり観客を楽しませ、魅せるレスリングを売りにしています。以前、日本経済新聞でも紹介されました。ライバルは、日本のレスリング団体ではなく、ドイツであること、つまり、ゲストを楽しませ、魅せるという点で共通している訳です。

WWEを見たさに、スカパーTVに加入(PPV含む)し、日本に来日すれば、東京(代々木)・神戸へと観戦。

今年(H16)も2月には、大阪へ観戦予定!(チケットゲット!)

最近では、本場(アメリカ)で観戦したいとさらにエスカレートしております。



息子には、そんなバカみたいなこと(WWE 3日観戦ツアー)は学生時代でしか出来ないから、アメリカでもカナダでも行ってきなさいと言ってはありますが、実現するのかわりか未定です。私も一緒に同行したい気持ちもありますが、ちょっと変かな!?

「結婚の条件と晩婚化」

森 ちか (GMエキスパート)



今の若い女(ひと)たちは「結婚」についてどう考えているのか知れたかった。

本の中に書いてあった彼女たちにとって「結婚」とは、「ビジネス」なのだそう。苦労して就職なんかしたって意味がない、優雅な専業主婦こそ女の生きる道なのだ。女性の自立も男女雇用機会均等法も、必要ない。経済力のある男を見つけ、子育てし、なおかつ余裕があれば、最後に「自己実現」のためにちょっとした「価値ある仕事」がしたいのだと。

だが彼女たちは、喜んで「ビジネス」としての「結婚」を選んだかというところではなく、自分が何者で何が出来るか、そして自分の個性を見つけていることができず、皆と同じように振舞って、親の期待に応えられる程度に受験勉強や就職活動をしなければならず、暗い将来しか見えないこの国で何とか生きていかねばならないという諦めを抱えている。そして今の階層を維持するために「番良い方法」が「結婚」だったのです。

未来と希望が持てないまま、彼女たちは「結婚」へ向かう。しかし、その相手の男たちも、彼女たちと同じように未来と希望のないまま……

「女子学生は現在の自分の生活水準を保証してくれる男を探し、男子学生はユートピア的場所となる女性を探す。しかしそんな理想の相手はどこにもいない」

「晩婚化」は、優雅な生活を求める故にではなく、夢の実現が不可能であるから起こったのだそう。でも、森松の若い女(ひと)たちの考えも聞いてみなければ……

「映画館」

松井宣和 (ΣT208)



名古屋駅前の、毎日ビルの建て替えや、栄、矢場町のヘラルドシネプラザ破たん売却等で、これまでお世話になってきた映画館が少なくなってきました。私には寂しい限りです。近年、郊外にできたシネコンの影響かな?

先日、名駅に駆けピカデリーで、ハリウッド映画 TOM CRUISE 主演「THE LAST SAMURAI」を鑑賞してきました。

ハリウッドが日本文化のサムライに挑戦することで、武士道や大和魂、また武士の生きざまを、どのように表現するのか大変興味がありました。日本人の私があるシーンで涙する時がありました。上映時間2時間30分でしたが、大変短く感じられて思ったよりもよくできた内容だったと思います。ぜひ皆さんレンタルばかりではなく、映画館に通いましょう。迫力・臨場感・大音響を堪能して下さい。